

「落語」 でつながる地域の和ッ!!

千葉市中央区地域活性化支援事業、三年継続事業三年目

団体 落語研究会縁

代表 千葉家李桜（ちばやりおう）

☆目的

日本の文化《着物、落語の古典芸能》を身近に感じてもらい
文化の継承をめざしたい。

《2024年 事業内容》

生浜西小学校 実施数 160 名

本町一丁目自治会 実施数 25 名

生浜小学校 実施数 58 名

仁戸名小学校 実施数 60 名

幸町健康プラザ 実施数 20 名

☆事業の成果

★登戸小の生徒さんの祖母さまからの紹介であったり、前年度実施小学校から引き続き今年度も実施させていただきました。

また、ご案内をする前からお問い合わせがありました。

★当初は小学校5校が目標でしたが、3校となりました。

そのかわりに本町自治会さんからもお声がけがあり、地域でのひろがりを感じました。

☆内容①

★落語についての基本的な事柄の説明

座布団の置き方、めくり、めくり台、寄席文字の説明

落語の小道具（扇子、手ぬぐい）の説明、所作

★高座体験

出囃子とともに高座にのる→お辞儀→口上（名前を言う）→いま一番好きなこと、好きな食べ物、夢中になっていることなど話す→お辞儀しておしまい。

☆内容②

★着物の説明、羽織の説明

高座体験のときには、実際に羽織を着用、
校長先生や担任の先生から生徒へバトンを渡す。

★落語実演

「寿限無」「動物園」「転失気」など。

☆活動のためにしたこと

★4月から各小学校の教務主任さんに、昨年実施内容のご案内を全校一斉に送付しました。

☆展開や取組みについて

★小学校だけではなく、自治会やむ地域に広がりを見せたのでこの勢いに乗って来年度もひろげていきたい。

★羅稻などはこの3年間の実績をふまえて積極的に、自治会や老人会、フリースクールにも活動を働きかけていきたい。

★落語だけではなく、三味線漫談、手品、腹話術など（自団体のなかでの育成）他団体との交流もはかり、子供にわかりやすく、高齢者にたのしんでもらえる演目も多く取り入れていきたい。

★子供たちや区内の住民が、日本の伝統文化を理解してもらうためにも地道な活動をつづけていきたい。



生徒の高座体験



**生徒に羽織を次々に着せてあげ
る演者→**

←羽織を着て順番を待つ生徒



自治会での落語会

